

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆新資本主義実行計画 賃上げへ中小を5カ年で集中支援

・政府の新しい資本主義実現会議は実行計画改定版の原案まとめる。中小企業で働く人の賃金向上に向け、2029年度までの5年間、生産性を高める集中支援に取り組む。デジタル技術を駆使してより高い賃金を得る人材の「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」も育成。人手不足が深刻な12業種で60兆円規模の投資を実現。

◆4月の実質消費支出0.1%減 2カ月ぶりマイナス

・総務省が発表した4月の家計調査によると、2人以上世帯の消費支出は32万5717円だった。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比0.1%減少した。3月は2.1%増で、2カ月ぶりにマイナスになった。名目では4.0%増加。全体を押し下げたのは諸雑費や仕送り金など「その他の消費支出」で実質8.6%減だった。

◆倒産前の債務整理、多数決で可能に 事業再生法が成立

・経営難に陥った企業の債務を倒産前に多数決で整理できるようにする早期事業再生法が参院本会議で可決、成立した。金融債権を対象に金額ベースで4分の3以上の同意があれば債務の減額や返済計画を変更できるようにする。債務整理の手続きを円滑にすることで倒産前の早期再生を促す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆老朽インフラ更新に20兆円 政府、国土強靱化計画を閣議決定

・政府は国土強靱(きょうじん)化の中期計画を閣議決定。地震などの災害に備えて老朽化した公共インフラを更新。事業規模は20兆円強とし、2026年度から5年間の達成目標を分野ごとに設定。老朽化した下水道管を30年度までに新設。設置から30年以上経過した口径2メートル以上の下水道管およそ5000キロメートルを対象に安全性を高める。

◆日鉄のUSスチール買収、大統領判断なお先送り 次の期限は18日

・日本製鉄による米鉄鋼大手USスチールの買収を巡り、トランプ米大統領が買収の是非を判断する期限とされていた5日を過ぎたが、同氏の判断は出ていない。トランプ政権の幹部が日鉄の買収に前向きな発言をするなど残るハードルは少ないとみられるが、最終判断が先送りされる状況はなお続いている。

◆パナソニック系、畜舎向け熱交換器 鶏のヒートショック防止

・パナソニックホールディングス傘下のパナソニック環境エンジニアリングは冷たい外気を暖めて室内に供給できる熱交換器を発売したと発表。熱交換器とは、屋外に排出する空気から熱を回収し、取り入れた冷たい外気に熱を戻すシステム。鶏などを飼う畜舎向けに「小型分散型 畜舎用熱交換器」提供する。

《 注目商品 》

■長府製作所、ウルトラファインバブル石油給湯器

・ウルトラファインバブル機能を搭載した直圧式石油給湯器のラインアップを拡充。「寒冷地向け屋内設置タイプ」2機種を5月末、「給湯専用タイプ」1機種を6月末に発売。給湯器にウルトラファインバブル発生装置を搭載し、家じゅうにウルトラファインバブルを含むお湯を供給。



■グローエ、キッチン水栓「ミンタ」

・多様なスパウト形状と機能性で人気のキッチン水栓「ミンタ」シリーズに、水はね低減機能を搭載した新モデル7種類をラインアップ。日本国内のユーザーの声に応え、ドイツオリジナル品の散水板に改良を加えることで、水はねの少ない「ソフトスプレー仕様」を採用。



■スリーエムジャパン、「スコッチ・ブライト くり返し使える使い捨てクリーナー」

・ご家庭のトータルクリーニングブランドであるスコッチ・ブライト(TM)ブランドから、「スコッチ・ブライト(TM)くり返し使える使い捨てクリーナー」を発売。100%リサイクル繊維を使用した不織布シートで研磨粒子を含まないため、洗うものの表面をキズつけることがない。

